

介護保険料の値下げ、減免制度の実現を求める要望書

【要望趣旨】

「年金額は引き下げられたのにどうやって生活するんだ」「介護保険料を払ったら利用料が払えず利用を制限しないとイケない」—4月に届いた介護保険料の値上げの通知を見て、市民のみなさんの苦情が市役所や区役所に殺到し、4月に4,000件以上の苦情・問い合わせが寄せられています。

介護保険制度は、3年ごとに利用者の増大などを理由に保険料が値上げされ、4回目の値上げとなる今回は、名古屋は全国一、3割の大幅値上げです。日本共産党のわしの恵子市議の「全国一の値上げに胸の痛みを感じないのか」という質問にたいして、河村市長も「大変感じる」と答弁しています。

市長も認める「国の制度」で負担増を余儀なくされる市民のいのちと暮らしを守ることは、市長としての大事な仕事です。特に介護保険料の減免制度は県下の57%の自治体が行っており、低所得者や「減税」の恩恵のない非課税世帯の暮らしを守るため、名古屋市として介護保険料の減免制度の創設など緊急の対策を求めます。

【要望事項】

- 1、名古屋市独自の介護保険料減免制度を創設してください
- 2、国に対して介護への国庫負担を増やし、減免制度をつくるよう要望してください

氏名	住所

【介護など社会保障についてのご意見・ご要望をお書きください】

切り取り線

全国一の値上げに
10日間で4,075件
役所に苦情が殺到



党
准
中
央
委
員

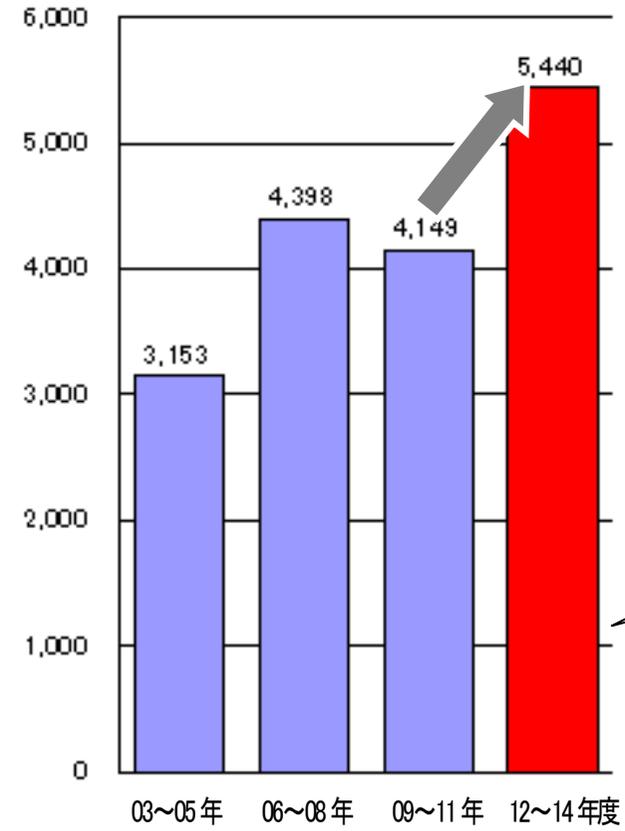
か
わ
え
み
み



衆
議
院
議
員

さ
さ
き
た
か
ひろ

名古屋市の介護保険料基準額(月額)の推移



自民・公明・民主は、介護保険制度をつくる時に、介護にかかる国の負担金をそれまでの1/2から1/4へ半分に減らしました。その結果、保険料と利用料で国民負担が増えました。

さらに、3年ごとに保険料を見直して、介護の利用者が増えれば増えるほど、保険料が上がる仕組みをつくったのです。



あなたの自宅にも通知が届いていませんか

緊急対策の実施を

愛知県内では右の地図のように31市町村で低所得者への介護保険料の減免制度があります。名古屋市が、介護保険料の減免制度を創設し、保険料の値上げで苦しんでいる市民を守るべきです。

